

しょう どうじしゃ してん はたら かんが 障がい当事者の視点から「働くこと」を考える

ぜんかいとうじしゃぶかい おも いけん
(前回当事者部会の主な意見)

【はたら「働くこと」とは】

- 「はたら働く」というのは、じちかいかつどうかね自治会活動などお金がなくてやれることもある。
ちいきなかかか地域の中に関わることが、はたら働くことなのではないか。
- 「はたら働く」とは、しゃかいかんけいもつづ社会と関係を持ち続けることではないか。きゅうりょう給料があったほうがよいが、しゃかいひょうか社会から評価されていることが大切。その人が自分としてがんばるときどきほほ頑張っていることを、時々褒めて欲しい。
- はたら働いてきたことが、じぶんいの自分の生きがいになったり、しゃかい社会とつながっていられたり、いろいろなめんじしん面で自信になっている。

【はたら働くに当たって困っていること】

- しょくば職場で、「なぜはたら障がい者と一緒に働くのか。はたら障がい者ははたら障がい者のところではたら働いた方がいいんじゃないか」と言われたことがある。
- さべつはいじょ差別を排除しなければならないが、それについてし知っているかいしゃ会社も知らないかいしゃ会社もある。
- たいちょうへんか体調の変化があり、き決まった時間にじかんしごと仕事をするのがむずか難しく、りかい理解してもらえるところでないとはたら働けない。

【はたら働くために必要なこと・変えてほしいこと】

- がたがたかよB型やA型に通っている人が、ひといっばんしゅうろうじゅう一般就労も自由にできて、りょうほうく両方を組み合わせながら、すこいっばんしゅうろうふ少しずつ一般就労を増やしていくシステムにできないか。
- ひとりがいしゅつ一人で外出ができないため、いえないしょくしごと家で内職などの仕事ができるようなシステムがあるとよい。
- たのはたら楽しく働ける」ということがたいせつ大切。

- 仕事上の付き合いが大切なので、周りとのコミュニケーションを広げることが大事。
- 1日8時間の仕事が難しい人に、毎日1時間働いて、その分の給料をあげるといった働き方の改革もできるのではないかな。
- 重度訪問介護を、仕事上でも使えるようにしてほしい。
- 働けなくなったときの保障が欲しい。

【その他】

- 障害年金が少ないため、無理してでも働かないといけない。
- 役所には、「もっと障がい者も働け」というようなものがあり、そうしたプレッシャーをかけるほど、「働くこと」から遠ざかってしまうのではないかな。

<今回皆さんにお聞きしたいこと>

「働くこと」に対する考えは、それぞれ違いますが、皆さんの「働くこと」を実現するために、どのような支援があったらよいと思いますか？